

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日	11月 ~26日	12月 ~3日	12月 ~10日	12月 ~17日	12月 ~24日
カンピロバクター	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	122	83	118	142	87	98	161	18	28	34	29	25	20	14 (17)	12
病原性大腸菌	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	113	64	135	206	161	102	112	18	21	18	16	26	19	20 (23)	20
腸管出血性大腸菌	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	11	10	13	18	29	9	12	4	8	4	0	1	0	2	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	15	9	21	32	17	24	24	4	1	4	0	5	3	2	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	17	15	23	27	16	22	19	3	4	5	3	2	3	3	2
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	3	0	5	9	11	5	14	2	0	1	0	1	0	0	0
ロタウイルス	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	6	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2
ノロウイルス	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	6	11	13	8	2	1	3	0	0	2	5	5	3	5	6

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第51週(12月18日~12月24日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1		2		2		3
三類	0	報告なし	0							
四類	7	A型肝炎	1							1
		つつが虫病	5				5			
		レジオネラ症	1				1			
五類全数	9	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1						
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1				
		梅毒	7				1	3	1	2

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第51週 12/18～12/24)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. インフルエンザ

定点当たり19.5人と、前週と比べて約2.6倍に急増し、注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えました。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は14件の報告があり、今シーズン累計は29件となりました。

なお、第51週の市内の基幹病院2か所による迅速診断結果では、A型陽性が232人、B型陽性が57人報告されています。

今後、さらに流行が拡大する可能性があり、注意が必要です。手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持など感染予防対策を徹底しましょう。

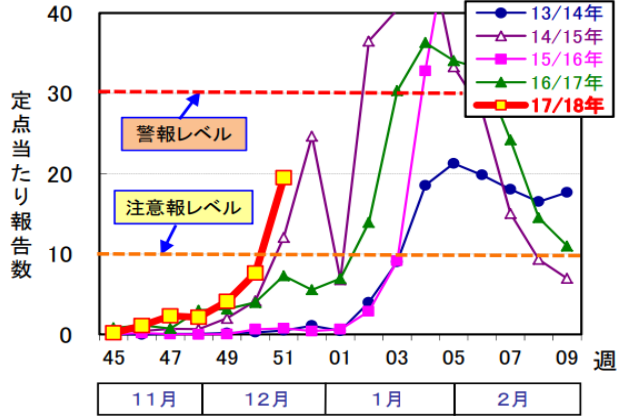
2. つつが虫病

5件の報告があり、今年の累計は20件(第46週から6週間での報告は19件)となりました。

3. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は61件となりました。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	721	19.49	4.44	↑	小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.82	
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.54			RSウイルス感染症	4	0.17	0.93	↓
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	3.83	2.62	↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	243	10.13	14.52	↔		流行性角結膜炎	9	1.13	0.73	
	水痘	15	0.63	1.20	↔		細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	14	0.58	0.57	↔		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.32			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
	突発性発しん	5	0.21	0.49			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05							

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減)

横ばい ↔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	135	女性(20歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	つつが虫病	5	20	女性(50歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	23	男性(60歳代)
5	梅毒	3	61	男性(20歳代)・1人、男性(40歳代)・1人、男性(70歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 結膜浮腫 眼瞼浮腫	23	女	2017/11/13	結膜擦過物	アデノウイルス3型
無菌性髄膜炎	発熱(38.7) 髄膜炎	0	女	2017/11/13	髄液	エコーウイルス7型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載